

沖縄県立那覇工業高等学校  
平成 31 年度 「コミュニケーション英語Ⅱ」 シラバス

科目	コミュニケーション英語Ⅱ	単位	2	学年	3	対象学科	全学科
使用教科書	(コ I350) Viva! English Communication II (第一学習社)			副教材等	同教科書準拠 WORKBOOK (第一学習社)		

学習の到達目標	<p>英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、情報や考えなどを的確に理解したり適切に伝えたりする能力を伸ばす。</p> <p>具体的言語活動は次の通り。</p> <p>ア. 事物に関する紹介や報告、対話や討論などを聞いて、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえたりする。</p> <p>イ. 説明、評論、物語、随筆などについて、速読したり精読したりするなど目的に応じた読み方をする。また、聞き手に伝わるように音読や暗唱を行う。</p> <p>ウ. 聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて、話し合うなどして結論をまとめる。</p> <p>エ. 聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて、まとまりのある文章を書く。</p>
---------	---

評価の観点			
a. コミュニケーションへの 関心・意欲・態度	b. 外国語表現の能力	c. 外国語理解の能力	d. 言語や文化についての 知識・理解
コミュニケーションに関心を持ち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとする。	外国語で話したり書いたりして、情報や考えなどを適切に伝えている。	外国語を聞いたり読んだりして、情報や考えなどを的確に理解している。	外国語の学習を通して、言語やその運用についての知識を身につけているとともに、その背景にある文化などを理解している。

期	月	種	学習項目	学習内容	a	b	c	d	評価の方法
1 学 期	4 ・ 5 月	1 学 期 中 間 考 査	Lesson 6 Looking for New Energy	<p>&lt;題材内容とねらい&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 刷新的なエネルギーの発生方法を読み取らせる。</li> <li>・ 地球のエネルギー問題について考えさせる。</li> <li>・ エネルギーの発生方法について、調べたことを発表させる。</li> </ul> <p>&lt;文型・文法事項&gt;</p> <p>関係代名詞を理解し、文を作ることができる。</p>	○		○	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 授業での取り組み</li> <li>・ 課題などの提出状況</li> <li>・ 評価問題</li> </ul>
			For Reading 3	<p>&lt;。ねらい&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ つなぎの語句に注意した読み方を学習する。</li> <li>・ 英文を読み取り、情報を整理してタスクに対応する。</li> </ul>			○	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 授業での取り組み</li> <li>・ 課題などの提出状況</li> </ul>
			For Communication 2	<p>&lt;ねらい&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「依頼する・聞き直す」表現を学習する。</li> <li>・ 英文を聞き取り、情報を整理して質問に答える。</li> <li>・ 場面に合った内容を考えながら、英語で適切に表現する。</li> </ul> <p>&lt;言語の働き&gt;</p> <p>「依頼する・聞き直す」表現を理解し、文を作ることができる。</p> <p>&lt;言語の使用場面&gt;</p> <p>「道案内」の場面をふまえた表現を使ってコミュニケーション活動ができる。</p>	○	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 授業での取り組み</li> <li>・ 課題などの提出状況</li> </ul>
	6 ・ 7 月	1 学 期 末 テ ス ト	Lesson 7 Taylor's Reading Corners	<p>&lt;題材内容とねらい&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ALT のテイラー・アンダーソンさんの人生について読み取らせる。</li> <li>・ テイラーさんがのこした文庫の意義について自ら考えさせる。</li> <li>・ 災害地のボランティア活動について調べて発表させる。</li> </ul> <p>&lt;文型・文法事項&gt;</p> <p>関係副詞を理解し、文を作ることができる。</p>	○		○	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 授業での取り組み</li> <li>・ 課題などの提出状況</li> <li>・ 評価問題</li> </ul>

学年	月	学期	学習項目	学習内容	a	b	c	d	評価の方法
			1 学期評価方法	<評価の対象> ①中間考査及び期末考査の成績, ②Lesson 6～7 の評価問題の成績, ③授業への取り組みの様子, ④課題の提出状況と解答内容, ⑤授業時間内に行うコミュニケーション・テストの実施状況。 評価の方法の観点別分類は別紙「評価の観点」に記載。					
2 学 期	9 ・ 10 月	2 学 期 中 間 考 査	Lesson 8 The World's Poorest President	<題材内容とねらい> ・ウルグアイのムヒカ大統領の来歴と考え方について読み取らせる。 ・自分たちが日常消費している資源について自ら考えさせる。 ・資源保護のために自分たちに何ができるかについて発表させる。 <文型・文法事項> 分詞/分詞構文を理解し, 文を作ることができる。	○		○	○	・授業での取り組み ・課題などの提出状況 ・評価問題
			Lesson 9 Shitamachi Bobsleigh Project	<題材内容とねらい> ・下町ボブスレープロジェクトについて読み取らせる。 ・世界に通用する町工場の技術について自ら考えさせる。 ・日本のものづくりについて発表させる。 <文型・文法事項> 知覚動詞・使役動詞を理解し, 文を作ることができる。	○		○	○	・授業での取り組み ・課題などの提出状況 ・評価問題
	11 ・ 12 月	2 学 期 期 末 考 査	For Communication 3	<ねらい> ・「希望する・願望する」表現を学習する。 ・英文を聞き取り, 情報を整理して質問に答える。 ・場面に合った内容を考えながら, 英語で適切に表現する。 <言語の働き> 「希望する・願望する」表現を理解し, 文を作ることができる。 <言語の使用場面> 「買い物」の場面をふまえた表現を使ってコミュニケーション活動ができる。	○	○	○	○	・授業での取り組み ・課題などの提出状況
	第2学期の評価方法				<評価の対象> ①中間考査及び期末考査の成績, ②Lesson 5～8 の評価問題の成績, ③授業への取り組みの様子, ④課題の提出状況と解答内容, ⑤授業時間内に行うコミュニケーション・テストの実施状況。 評価の方法の観点別分類は別紙「評価の観点」に記載。				
3 学 期	1 ・ 2 月	学 年 末 考 査	Lesson 10 LION IN THE WIND	<題材内容とねらい> ・柴田紘一郎医師の活動と, 氏をモデルにした曲について読み取らせる。 ・海外でのボランティア活動について自ら考えさせる。 ・日本人の海外での医療活動について発表させる。 <文型・文法事項> 仮定法を理解し, 文を作ることができる。	○		○	○	・授業での取り組み ・課題などの提出状況 ・評価問題
			Reading Shin-chan's Tricycle	<題材内容とねらい> ・物語『伸ちゃんのさんりんしゃ』を読み取らせる。 ・平和について自ら考えさせる。 ・世界平和, 核廃絶について発表させる。	○		○	○	・授業での取り組み ・課題などの提出状況 ・評価問題
			Further Reading Alice's Adventure in Wonderland	<題材内容とねらい> ・文学作品『不思議の国のアリス』を読み取らせる。 ・文学作品特有の英語表現について自ら考えさせる。 ・『不思議の国のアリス』の, 教科書に掲載されていないエピソードを発表させる。	○		○	○	・授業での取り組み ・課題などの提出状況 ・評価問題
	第3学期の評価方法				①コミュニケーションへの関心・意欲・態度, ②外国語表現の能力, ③外国語理解の能力, ④言語や文化についての知識・理解の4つの観点から表した各学期の成績から総合的に判断して, 年間の評価とする。				

